

令和 5 年 度

事 業 報 告 書

公益財団法人 京都文化財団

目 次

令和5年度事業報告書

○ 処務の概要	
1. 評議員及び役員に関する事項	1
2. 組織に関する事項	
○ 事業の状況	
I. 財団本部事務局	3
1. 本部事務局	
2. 文化財保護基金の事業	
II. 京都府京都文化博物館	5
1. 管理運営業務	
2. 事業実施状況	
III. 京都府立文化芸術会館・京都府立府民ホール	19
1. 管理運営業務	
2. 事業実施状況	
3. 美術工芸振興基金事業	
IV. 京都府立堂本印象美術館	29
1. 管理運営業務	
2. 事業実施状況	

処 務 の 概 要

1 評議員及び役員に関する事項

評 議 員 及 び 役 員 名 簿

令和6年3月31日現在

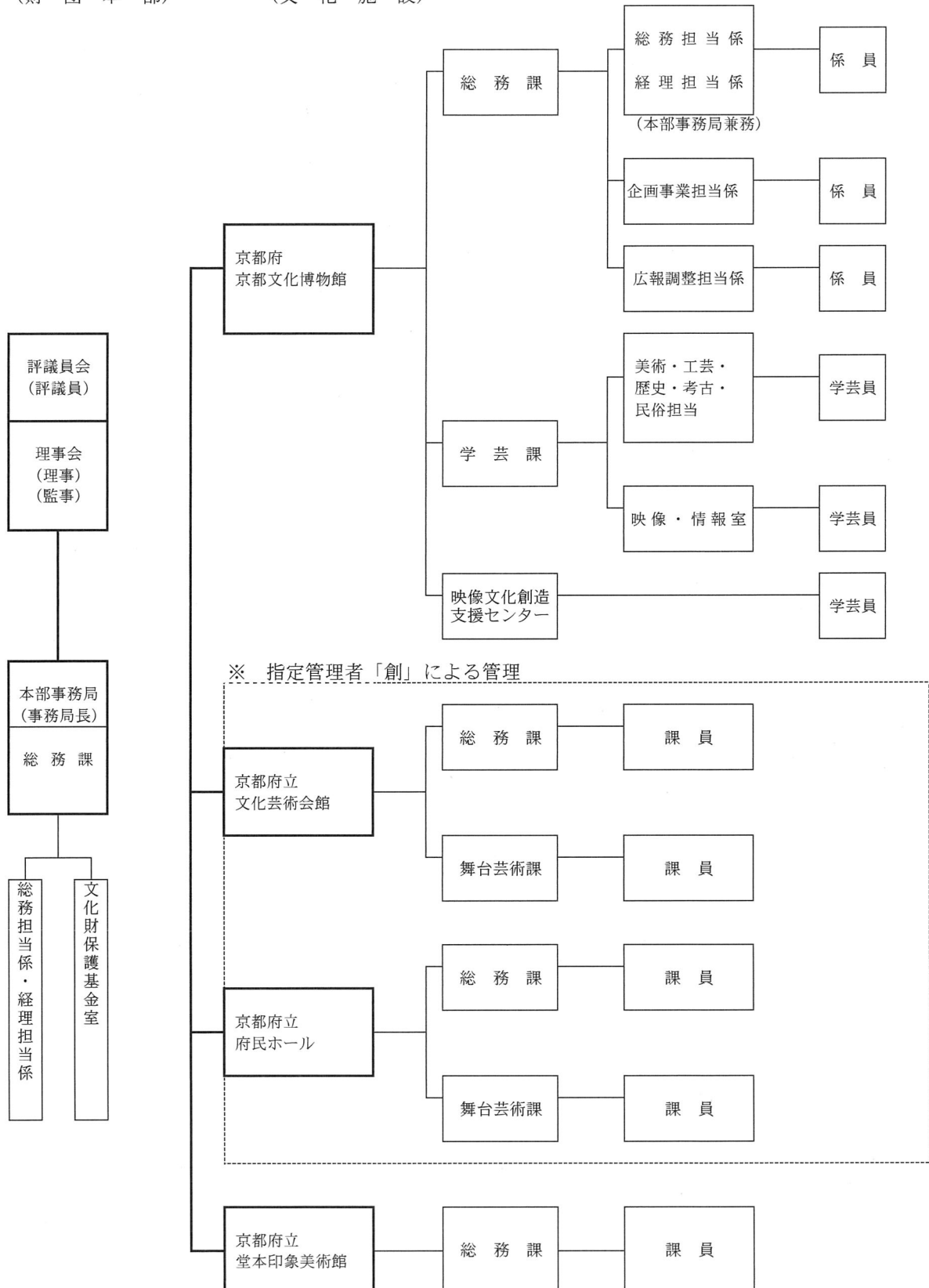
職 名		氏 名	摘 要	最初の就任年月日
顧 問		西 脇 隆 俊	京都府知事	平 30. 6. 5
"		千 玄 室	前京都文化財団副理事長 前茶道裏千家家元	平 23. 6. 16
評 議 員		池 坊 雅 史	華道家元池坊総務所事務総長	令 元. 6. 27
"		上 原 雅 明	京都府教育委員会教育長職務代理者	令 元. 6. 27
"		内 田 奈 織	ハーブ奏者	令 5. 6. 20
"		大 西 祐 資	京都新聞社代表取締役社長・主筆	令 4. 11. 23
"		杭 迫 柏 樹	書家	平 27. 6. 23
"		金 剛 永 謹	金剛流宗家	平 23. 5. 17
"		坂 口 博 翁	一般財団法人京都仏教会常務理事 真言宗大覚寺派別格本山覚勝院名誉住職	令 5. 1. 31
"		佐々木 正 子	嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学学長、学校法人大覚寺学園理事	令 元. 6. 27
"		佐 野 真 由 子	京都大学大学院教育学研究科教授	令 5. 6. 20
"		潮 江 宏 三	美術評論家、京都市立芸術大学名誉教授	令 元. 6. 27
"		田 中 恆 清	石清水八幡宮宮司	平 23. 5. 17
"		中 西 た え 子	株式会社鼓月取締役会長	令 5. 6. 20
"		中 村 宗 哲	千家十職塗師当代	令 5. 6. 20
"		名 和 修	公益財団法人陽明文庫常務理事・文庫長	平 23. 5. 17
"		野 崎 貴 典	古典の日推進委員会ゼネラルプロデューサー	令 5. 6. 20
"		古 川 博 規	京都府副知事	令 2. 10. 26
"		森 田 り え 子	日本画家、京都市立芸術大学客員教授	令 5. 6. 20
"		山 極 壽 一	総合地球環境学研究所所長	令 3. 3. 31
"		吉 岡 恵 美 子	京都精華大学副学長、常務理事、教授	令 5. 6. 20
"		冷 泉 為 人	公益財団法人冷泉家時雨亭文庫理事長	平 23. 5. 17
役 員	理 事 長 (代表理事) 常 務 理 事 (業務執行理事) 理 事	山 田 啓 二	京都文化博物館館長、前京都府知事	平 30. 6. 20
		金 谷 宗 子	京都文化博物館副館長、京都文化財団事務局長	令 4. 5. 24
		植 村 幸 弘	京都中央信用金庫専務理事	令 4. 6. 28
	"	奥 野 美 奈 子	株式会社京都銀行取締役	令 3. 11. 12
	"	金 田 章 裕	京都府立京都学・歴彩館長、京都府公立大学法人理事長	平 26. 6. 27
	"	高 階 絵 里 加	京都大学大学院地球環境学堂教授 京都大学人文科学研究所教授	平 23. 3. 22
	"	並 木 誠 士	京都工芸繊維大学特定教授・美術工芸資料館館長	平 24. 6. 26
	"	深 尾 憲 一	弁護士	平 23. 3. 22
	"	吉 田 忠 嗣	吉忠株式会社代表取締役社長	平 23. 3. 22
監 事		光 田 周 史	公認会計士	平 23. 3. 22
"		中 村 健 児	一般社団法人京都銀行協会専務理事	平 29. 3. 23
(現 在 数)				
顧 問 2名 評議員20名 理 事 9名 監 事 2名				

2 組織に関する事項

令和6年3月31日現在

(財 団 本 部)

(文 化 施 設)



I 財団本部事務局

1 本部事務局

公益性が高く、かつガバナンスを強化した法人組織を確立するとともに、公益財団法人としての事業に取り組んだ。

財団本部では文化博物館を含む4つの文化施設の事業活動が、それぞれ設立趣旨に則して円滑に推進できるように努めるとともに、併せて文化財保護基金による資金の貸付け及び文化財の保存と啓発に関する事業等の推進に努めた。

2 文化財保護基金の事業

(1) 文化財保護資金の貸付け

新規貸付 2 件、貸付総額 23,000 千円であった。(令和5年11月20日付貸付決定)

▼宝積寺(京都府大山崎町) 本尊剥離修理及び本堂半解体修理 20,000 千円

▼実相院(京都市左京区) 菩薩像及び厨子修理、襖絵板戸剥落修理 3,000 千円

① 貸付金の償還状況

(単位：千円)

貸付 年度	貸付 件数	貸付額	令和5年度償還額				償還済額 (元金)	未償還額 (元金)
			件数	元 金	利 子	計		
②⑤	8	95,000	5	7,921	95	8,016	87,079	0
②⑥	3	19,400	2	1,960	44	2,004	15,693	1,747
②⑦	3	28,000	1	1,592	58	1,650	23,165	3,242
②⑧	4	41,000	4	4,630	204	4,834	24,032	12,339
②⑨	2	21,000	1	666	41	707	17,587	2,746
③⑩	2	22,000	1	1,646	122	1,768	11,822	8,532
①	0	0	0	0	0	0	0	0
②	3	14,000	3	2,702	87	2,789	3,221	8,076
③	2	20,000	2	2,166	152	2,318	2,148	15,686
④	0	0	0	0	0	0	0	0
⑤	2	23,000	0	0	0	0	0	23,000
累計	29	283,400	19	23,283	803	24,086	184,747	75,368

(2) 文化財保護の啓発普及

① 啓発普及誌「文化財レポート」の発行

文化財の重要性を認識し、保護意識の高揚を図るための普及誌として「文化財レポート第37号」を発行(1,500部、令和6年3月)し、文化財保護の啓発に努めた。

② 文化財保護のよろず相談

指定・未指定を問わず文化財を所有されている京都府内の方を対象とした文化財保護のよろず相談窓口を文化博物館ホームページ上に引き続き開設した。

③ 文化財研修講座

碧雲荘運営事業組合と連携し、国の重要文化財「野村碧雲荘」の見学会を開催した。

日程：令和6年3月7日、8日(2日間) 参加者83名

(3) 文化財保護関係の関係機関及び諸団体との連携の強化

文化財保護関係機関で構成する京都文化財防災対策連絡会との連携により、事業の推進や啓発活動の強化に努めた。

(4) 福寿園・お茶の文化賞事業

① 第2回福寿園・お茶の文化賞の授与

お茶の文化賞選考委員会（令和4年12月16日）による選考を経て、第2回お茶の文化賞を授与した。

授賞式：令和5年5月18日

大賞受賞者：NP0法人日本茶インストラクター協会

日本茶インストラクター等の認定、普及を通じてお茶の文化の継承と発展に尽力。

奨励賞受賞者：戸田惺山

竹でできた簡単な構造の、持ち運びのできる茶室を考案し、病院のロビーなどいろいろな場所で茶会を開き、茶の湯の魅力の発信に努めている。

② 第3回お茶の文化賞選考委員会

令和6年度受賞者を選定する選考委員会を開催した。（令和6年1月30日）

Ⅱ 京都府京都文化博物館

1 管理運営業務

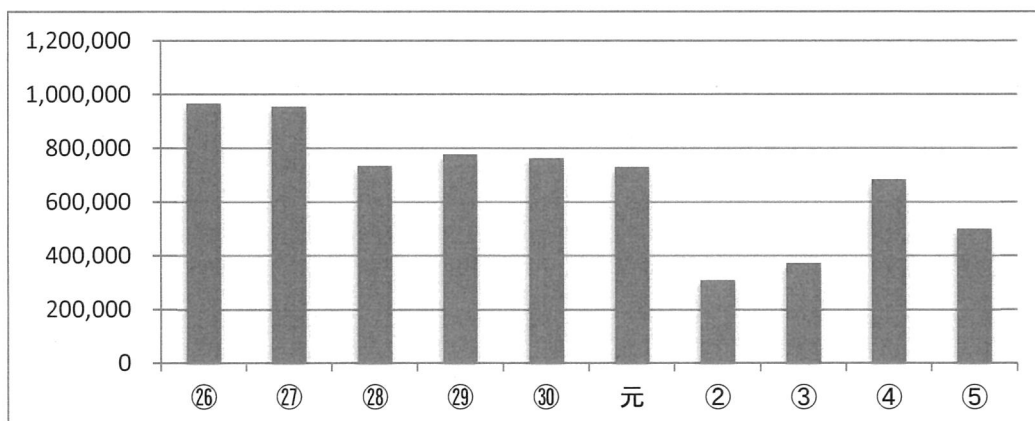
令和5年度はコロナウイルス感染症による制限はなかったが、感染症等の影響を大きく受けた時期に海外展やアニメなどの展示を断念し、代案として急遽企画した事業を行うこととなった。そのため、集客力のある特別展が開催できず、入館者数は前年度に比べ大きく落ち込んだ。また、貸展示室やろうじ店舗の利用者数もコロナ以前の状況には戻っておらず経営全体としては大変苦しい運営となった。一方で、訪日外国人の増加や国内の観光客の増加も見られ、特に総合展示は入館者数が好調で、回復の兆しも見られた。

(1) 令和5年度利用者数状況

区 分	展覧会入館者	貸展示室等 利用者	ろうじ店舗等 利用者	総 計
来館者数	211,952	206,787	79,559	498,298

(参考) 過去10年間の入館者数実績

年 度	展覧会入館者	貸展示室等 利用者	ろうじ店舗等 利用者	総 計
②⑥	493,728	307,449	163,568	964,745
②⑦	456,529	315,571	181,139	953,239
②⑧	283,487	291,152	157,688	732,327
②⑨	286,370	331,017	158,182	775,569
③⑩	270,205	343,129	147,873	761,207
元	310,813	274,299	143,215	728,327
②	129,425	113,333	64,665	307,423
③	120,554	185,285	64,195	370,034
④	416,867	179,998	84,853	681,718
⑤	211,952	206,787	79,559	498,298



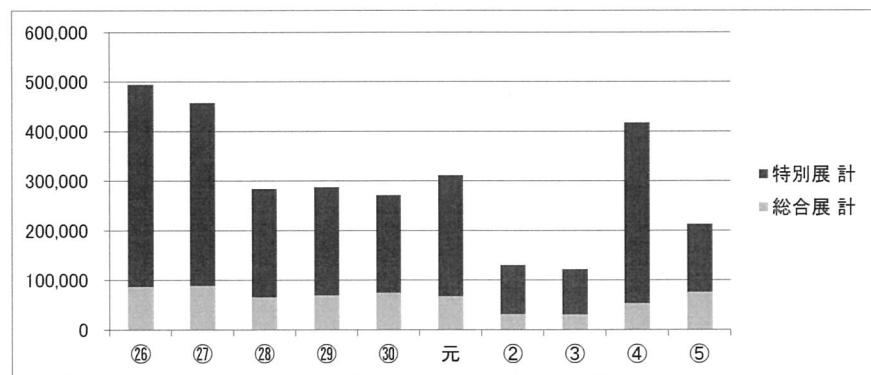
(2) 入館者数

(単位：人)

	総合展			特別展			合計		
	有料	無料	計	有料	無料	計	有料	無料	合計
令5年4月	2,397	1,616	4,013	3,492	5,822	9,314	5,889	7,438	13,327
令5年5月	2,294	1,918	4,212	5,557	1,991	7,548	7,851	3,909	11,760
令5年6月	2,539	2,354	4,893	5,704	2,732	8,436	8,243	5,086	13,329
令5年7月	4,272	2,789	7,061	2,005	1,156	3,161	6,277	3,945	10,222
令5年8月	2,153	2,413	4,566	4,156	2,298	6,454	6,309	4,711	11,020
令5年9月	2,520	1,880	4,400	5,521	2,456	7,977	8,041	4,336	12,377
令5年10月	1,758	2,676	4,434	13,958	2,787	16,745	15,716	5,463	21,179
令5年11月	2,814	3,074	5,888	7,933	4,013	11,946	10,747	7,087	17,834
令5年12月	6,624	3,809	10,433	2,472	11,540	14,012	9,096	15,349	24,445
令6年1月	7,773	4,207	11,980	8,715	17,393	26,108	16,488	21,600	38,088
令6年2月	4,442	2,538	6,980	6,775	6,151	12,926	11,217	8,689	19,906
令6年3月	4,275	2,276	6,551	9,688	2,226	11,914	13,963	4,502	18,465
計	43,861	31,550	75,411	75,976	60,565	136,541	119,837	92,115	211,952

(参考) 過去10年間の入館者数実績

	総合展			特別展			合計		
	有料	無料	計	有料	無料	計	有料	無料	合計
㊾	29,719	57,068	86,787	291,681	115,260	406,941	321,400	172,328	493,728
㊿	25,909	62,651	88,560	253,770	114,199	367,969	279,679	176,850	456,529
㊽	29,078	35,962	65,040	122,616	95,831	218,447	151,694	131,793	283,487
㊼	33,798	35,422	69,220	114,518	102,632	217,150	148,316	138,054	286,370
㊻	33,897	40,316	74,213	90,655	105,337	195,992	124,552	145,653	270,205
元	30,283	36,497	66,780	144,109	99,924	244,033	174,392	136,421	310,813
㊺	12,051	18,513	30,564	66,057	32,804	98,861	78,108	51,317	129,425
㊻	11,747	18,698	30,445	71,402	18,707	90,109	83,149	37,405	120,554
㊼	23,360	29,348	52,708	328,383	35,776	364,159	351,743	65,124	416,867
㊽	43,861	31,550	75,411	75,976	60,565	136,541	119,837	92,115	211,952



(3)-1 特別展の状況

(単位:人)

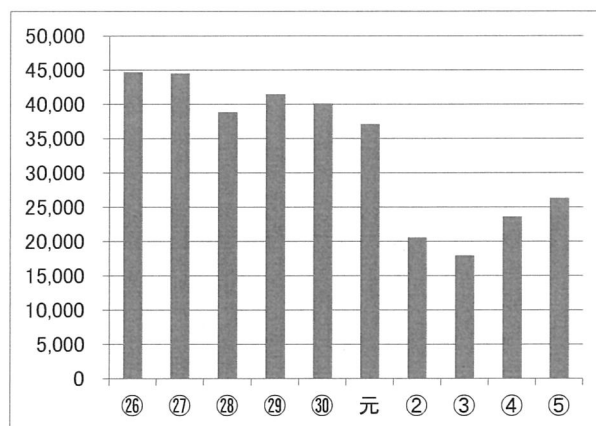
展 覧 会 名	共催者等	開催期間(日数)	入館者数	1日平均
知の大冒険 —東洋文庫 名品の煌めき—	京都府 京都文化博物館 読売新聞社	2月21日(火)～4月9日(日) (42日間/8日間【4/1～4/9迄】)	【4/1～9迄】 2,870人	【4/1～9 迄】 358人
大名茶人 織田有楽斎	京都府 京都文化博物館 正伝永源院 読売新聞社	4月22日(土)～6月25日(日) (57日間)	18,424人	323人
発掘された珠玉の名品 少女たち	京都府 京都文化博物館 産経新聞社 関西テレビ放送 京都新聞	7月15日(土)～9月10日(日) (50日間) ※8/15 台風による臨時休館	13,398人	267人
もしも猫展	京都府 京都文化博物館 読売テレビ	9月23日(土祝)～11月12日(日) (44日間)	30,742人	698人
Kyoto Art for Tomorrow 2024 —京都府新鋭選抜展—	京都府 京都文化博物館	1月20日(土)～2月4日(日) (14日間)	21,734人	1,552人
コスチュームジュエリー	京都府 京都文化博物館 MBSテレビ 京都新聞	2月17日(土)～4月14日(日) (50日間/38日間【3/31迄】)	【3/31迄】 16,827人	【3/31迄】 442人
合計(6回)		開催日数(211日間)	103,995人	492人

(3)-2 総合展(企画展)の状況

展 覧 会 名	共催者等	開催期間(日数)	入館者数	1日平均
原派、ここに在り —京の典雅—	京都府 京都文化博物館	2月18日(土)～4月9日(日) (44日間/8日間【4/1～4/9迄】)	【4/1～9迄】 4,004人	【4/1～9 迄】 500人
異界へのまなざし —あやかしと魔よけの世界—	京都府 京都文化博物館	11月25日(土)～1月8日(月祝) (33日間)	16,848人	510人
シュルレアリスムと日本	京都府 京都文化博物館	12月16日(土)～2月4日(日) (38日間)	11,694人	307人

(4) フィルムシアターの利用状況

	利用者数
令和 5年 4月	1,697
" 5	2,225
" 6	2,491
" 7	3,478
" 8	2,227
" 9	2,076
" 10	1,953
" 11	1,755
" 12	1,959
令和 6年 1月	2,287
" 2	1,485
" 3	2,643
計	26,276
月平均利用者数	2,189



(参考) 過去10年間の利用者実績

26	44,622
27	44,442
28	38,779
29	41,406
30	40,058
元	37,069
2	20,506
3	17,901
4	23,553
5	26,276

(5) 展示室（貸室）の利用状況

展示室	種 別	利用日数	利用率	入場者数
5 階展示室	一般 (収益)	84日	54%	18,448 人
	作家 (公益)	127日	—	29,067 人
6 階展示室	一般 (収益)	123日	43%	13,743 人
	作家 (公益)	13日	—	1,546 人
合計		—	—	62,804 人

前年度入場者数
18,074 人
27,609 人
13,416 人
493 人
59,592 人

展示室	種 別	利用日数	利用率	入場者数
別館ホール	貸ホール (収益)	204日	—	110,593 人
	主催	10日	—	33,390 人
合計		214日		143,983 人

前年度入場者数
86,184 人
34,222 人
120,406 人

(6) ろうじ店舗等利用状況

区 分	利用人数	月平均	前年度 利用者数
物販・飲食店（9店舗）	79,559 人	6,629	84,853 人

2 事業実施状況

(1) 総合展示事業 (2 階)

① 「京の歴史」エリア

平安・鎌倉・室町・江戸の各時代を 150 インチ×4 画面の大迫力で再現したビジュアル「絵巻回廊」のほか、最新技術による映像資料と「ほんまもん」の実物資料で京都の歴史を紹介。

② 「京の至宝と文化」

開催期間	展 覧 会 名
4 月 8 日～6 月 4 日	桃山陶器に出会う 桃山デザイン
6 月 10 日～8 月 6 日	～室町幕府滅亡後 450 年～足利将軍、戦国を駆ける！
8 月 11 日～10 月 1 日	徳川家康とその時代
10 月 7 日～12 月 3 日	池大雅展－あるコレクターの視点
10 月 7 日～12 月 3 日	近衛家 王朝のみやび 陽明文庫の名宝 13 「三藐院記」 重要文化財指定 記念 近衛信尹の生涯
12 月 9 日～令和 6 年 2 月 4 日	日本考古学の鼻祖 藤 貞幹展
2 月 10 日～4 月 7 日	紫式部と『源氏物語』

③ 「京のまつり」

4 月 15 日～6 月 11 日	近現代の型染
6 月 17 日～8 月 13 日	～室町幕府滅亡後 450 年～ 祇園祭－足利将軍が見た山鉾巡行－
8 月 19 日～10 月 15 日	いけばなの世界展
10 月 21 日～12 月 17 日	町のちからⅡ－阪東屋町文書の世界－
12 月 23 日～令和 6 年 2 月 18 日	シュルレアリスムと京都
2 月 24 日～4 月 7 日	雛人形名品展

(2) 総合展示事業 (3 階・映像)

火曜日～日曜日 午後 1 時 30 分～、午後 6 時 30 分～（土、日、祝は午後 1 時 30 分～、午後 5 時～）

開催期間	タイトル・特集名
4 月 1 日～5 月 31 日	銀幕推し活－アイドル映画特集
6 月 1 日～8 月 2 日	【没後 30 年】映画俳優笠智衆特集
6 月 20 日～7 月 23 日	EU フィルムデーズ 2023 映画でつながるヨーロッパ
7 月 16、17 日、24 日	祇園祭記念特別上映
8 月 4 日～8 月 6 日	第 28 回 京都国際子ども映画祭
8 月 8 日～8 月 31 日	子どもと大人の眼差し－子ども映画特集
9 月 1 日～9 月 3 日	第 43 回日本映像学会関西支部夏期映画ゼミナール 中島貞夫とその時代
9 月 5 日～10 月 1 日	映画の中の少女たち
9 月 17 日	山中貞雄監督を偲ぶ
10 月 3 日～10 月 31 日	アウトローなヒーローたち - 時代劇篇
10 月 14 日～10 月 22 日	第 45 回ぴあフィルムフェスティバル in Kyoto 2023
11 月 1 日～11 月 30 日	【京都文化博物館開館 35 周年記念】日本のハリウッド・京都映画特集
11 月 16 日～11 月 19 日	イメージフォーラム・フェスティバル 2023
12 月 1 日～12 月 3 日	京まちなか映画祭 2023

12月5日～12月27日	【異界へのまなざし展協賛企画】映画にみる怪異の世界
12月9日～12月10日	VIDEO PARTY 2023
12月15日	映画と音楽の時空旅行-クラシックカーニバル×京都ヒストリカ国際映画祭
令和6年1月4日～1月21日	春夏秋冬-四季を刻む映画
1月23日～1月28日	第15回京都ヒストリカ国際映画祭
1月30日～2月29日	松竹下加茂撮影所100年記念特集上映
2月10日～2月12日	第26回京都国際学生映画祭
2月23日～2月25日	UCF3:UNDERGROUND CINEMA FESTIVAL
3月1日～3月31日	アウトローなヒーローたち - 現代劇篇
3月5日～3月17日	蘇ったフィルムたち チネマ・リトロバート映画祭
3月20日	[上映と報告]日本初70mm映画『釈迦』の復元にむけた調査報告

総合展示（映像）関連事業（外部共催上映等）

開催日	タイトル	講演者等
6月20日～7月23日	EU フィルムデーズ 2023 共催：欧州連合代表部、欧州連合加盟国大使館・文化機関	EU 代表部が加盟各国から集めた映画作品『ルクセンブルク、ルクセンブルク』『タイガーズ サンシー口の陰で』『母』『埋葬』『ブラインドマン』『シチリアーノ 裏切りの美学』『ケースがはばたく日』『マッチ棒くずし』『イニシェリン島の精霊』『オレグ』等28作品の上映。 鑑賞者数：3,534人（126人／1日）
8月4日～6日	第29回京都国際子ども映画祭 共催：キンダーフィルムフェストきょうと	世界各国で製作される子ども映画を、ベルリン国際映画祭ジェネレーション部門受賞作を中心に集め、子ども審査員によりコンペティションを行う。『トーテム』『ワイルドツアー』『海の輝き』『ホットチョコレート』等12作品を上映。 鑑賞者数：491人（164人／1日）
9月1日～3日	第43回日本映像学会関西支部夏期映画ゼミナール 中島貞夫とその時代 共催：日本映像学会関西支部	『一心太助 天下の一大事』『誇り高き挑戦』『武士道残酷物語』『関の弥太っぺ』『893 愚連隊』『序の舞』の上映とトーク。 鑑賞者数：434人（145人／1日）
10月14日～22日	第45回びあフィルム・フェスティバル（PFF） 共催：一般社団法人 PFF	『完璧な若い女性』『ホモ・アミークス』『リテイク』『じゃ、また。』『革命狂時代』『ヒロシマから遠く離れて』『明日に向かって走れない』『空飛ぶ円盤を見た男』『くじらのまち』等24作品の上映と受賞監督のトーク。 鑑賞者数：537人（67人／1日）
10月30日	フィルムメーカーの悩み-人的ネットワークの作り方 共催：第36回東京国際映画祭実行委員会	京都フィルムメーカーズラボの過去の参加者3名（山崎樹一郎 2012年東映チーム美術担当、宮本万里 2021-22年東映チーム製作担当、西川文恵 2009年松竹チーム助

		監督担当)を講師に、映画づくりや自分の夢を実現するために必要な人的なネットワークづくりの実例を講演。 鑑賞者数：41人(41人/1日)
11月16日～19日	イメージフォーラム・フェスティバル 2023 共催：イメージフォーラム・フェスティバル実行委員会、ダゲレオ出版	『ハロー、ワールド!』『口がきけない』『供物』『蝕』『ライト・マター』『心の風景』『文化なくして国家なし』『スティル・フリー』『ナハトムジーク』『ゆらめくグラフィット』『ABITA』等56作品の上映。 鑑賞者数：178人(45人/1日)
12月1日～3日	京まちなか映画祭 2023 主催：京まちなか映画祭実行委員会	『黒い十人の女』『雨月物語』『恋文』『侍タイムスリッパ』『隠し砦の三悪人』『ごはん』の上映と安田淳一監督、バンヒロシ氏らのトーク。 鑑賞者数：333人(111人/1日)
12月9日～12月10日	VIDEO PARTY 2023 共催：VIDEO PARTY 実行委員会	『魔法の紫ウサギ』『パーツ』『不在の存在』『なんでやねん!』『キャンディはいかが』『スタァ錦肝』『シンセリアリティ』『SPOOKAI』『書動一游泳』『Nino』等の上映とよこえれいな『Relief』のインスタレーション展示。 鑑賞者数：257人(129人/1日)
12月15日	映画と音楽の時空旅行-クラシックカーニバル×京都ヒストリカ国際映画祭 共催：京都ヒストリカ実行委員会、立命館大学	『パガニーニ 愛と狂気のヴァイオリニスト』の上映と音楽コンサート。 鑑賞者数：132人(132人/1日)
令和6年 1月23日～28日	第15回京都ヒストリカ国際映画祭 主催：京都ヒストリカ国際映画祭実行委員会(京都府、京都文化博物館、東映株式会社京都撮影所、株式会社松竹撮影所、株式会社東映京都スタジオ、巖本金属株式会社、株式会社ディレクターズ・ユニブ、立命館大学) 共催：イタリア文化会館大阪、KYOTO CMEX 実行委員会	『狂った一頁』『十三人の刺客』『チャーリーとチョコレート工場』『用心棒』『シャーロック・ホームズ』『山猫』TVアニメ『ONE PIECE ワノ国編』(892話・1071話)等の上映とカルメン・アッカブート、清水慎治、長峯達也、暮田公平、入江悠、片渕須直等のトーク。ろうじ店舗ではVR作品『MONO』を展示上映。 鑑賞者数：866人(144人/1日)
1月26日～1月31日	第16回京都フィルムメーカーズラボ (Kyoto Filmmakers Lab 2023-24) 主催：京都ヒストリカ国際映画祭実行委員会 共催：第33回東京国際映画祭実行委員会、イタリア文化会館-大阪、KYOTOCMEX 実行委員会	世界各国から若手映画作家を招き、東映、松竹の両撮影所で5分の短編時代劇2作品を製作する合宿形式のワークショップ(公用語：英語)。web公募の結果、ラボとマスターズセッション含め182名の応募から時代劇製作には18名が参加となった。東映、松竹の京都撮影所で安藤清人(照明監督/東映)、高橋剣(プロデューサー/東映)、永島聡(プロデューサー/松竹)監修の時代劇製作ワークショップを開催。 参加人数：20名
1月26日～1月28日	京都フィルムメーカーズラボ・マスターズセッション	京都フィルムメーカーズラボ参加者+マスターズセッション参加者(15名)、TVア

	主催：京都ヒストリカ国際映画祭実行委員会 共催：第 33 回東京国際映画祭実行委員会、 イタリア文化会館-大阪、KYOTOCMEX 実行委員会	ニメ『ONE PIECE』のスタッフの清水慎治 (プロデューサー)、長峯達也 (監督)、暮 田公平 (監督)、赤堀哲嗣 (制作) そして 八木毅 (特撮監督)、キアラ・トロイージ (VR 作家)、ヴァレンティーナ・ベローモ (ヴェネツィア・ビエンナーレ BCC ディレ クター) による講演。 鑑賞者数：698 名人 (100 人/1 日)
2 月 3 日～2 月 5 日	第 26 回京都国際学生映画祭 共催：大学コンソーシアム京都	『Hellscape』『The Crooker Lovers』『Lost in Count』『Between us』『EX MACHINA』 『DOCOOK』『Durian Trees』『Hell-World Judge』『喝采』『残酷な少年のテーゼ』 等 16 作品の上映と入選監督と審査員のト ーク。 鑑賞者数：234 人 (78 人/1 日)
2 月 23 日～25 日	UNDERGROUND CINEMA FESTIVAL 3 共催：アンダーグラウンド映画祭実行委員会	『MOD FUCK EXPLOSION』『Crazy Dolls』『蟹 牡丹』『サルビア姉妹』『ねんねこりんりん』 『とまとぴん』『破壊する光は訪れる』『オ ランダ人の写真』『影踏み』『地球の石』等 26 作品の上映。 鑑賞者数：130 人 (43 人/1 日)
3 月 5 日～17 日	蘇ったフィルムたち チネマ・リトロバート 映画祭 共催：ボローニャ復元映画祭、国立映画 アーカイブ	『私は彼女をよく知っていた』『フィリバ ス』『ハーレムの殺人』『無防備都市』『カ ルプナー』『メカジキの時機』『火の島々』 『硫黄の山』『忘れ去られた人々』『シシリ ーの黒い霧』『異人と霧』等 25 作品の上映 と森宗厚子、中西香南子のトーク。 鑑賞者数：1,133 人 (94 人/1 日)

(3) 特別展示関連事業

①『四百年遠忌記念特別展 大名茶人 織田有楽斎』

内容	開催日	タイトル	講演者等	参加者数
講演会	5 月 17 日	「有楽の茶の湯」	茶道資料館顧問 筒井紘一	153 人
ギャラリートーク	4 月 26 日、5 月 19 日、5 月 26 日、5 月 31 日、 6 月 21 日 (計 5 回)		当館学芸員 有賀茜 西山剛 村野正景	34 人 21 人 16 人 76 人 75 人

②『発掘された珠玉の名品 少女たち一夢と希望・そのはざままで 星野画廊コレクションより』

内容	開催日	タイトル	講演者等	参加者数
トーク会	7 月 16 日	「石を磨く一星野桂三さんのお 話を聞く」	星野画廊 星野桂三 関西テレビアナウンサー 関 純子 当館学芸員 植田彩芳子	104 人

ワークショップ	7月23日	夏休み親子でアート鑑賞「自分だけの名品を見つけよう！」	当館学芸員 植田彩芳子	0人
シンポジウム	8月5日	「近代京都絵画史研究を振り返る：京都、むかしがたり」	笠岡市立竹喬美術館前館長 上蘭四郎 京都市立芸術大学名誉教授 榊原吉郎 京都女子大学名誉教授 廣田孝 星野画廊 星野桂三 当館学芸員 植田彩芳子	121人
ワークショップ	8月11日	「貼り絵でオリジナルうちわを作ろう！」	総務課広報調整担当 森 麻紀子	26人
講演会	8月19日	「少女たち展ができるまで一学芸員ウラばなし」	当館学芸員 植田彩芳子	58人
ギャラリートーク	7月21日、8月4日、8月18日、9月1日 (計4回)		星野画廊 星野桂三	31人 42人 61人 51人
ギャラリートーク	8月11日、8月20日、8月25日、8月27日 (計4回)		当館学芸員 植田彩芳子	12人 25人 21人 35人

③『もしも猫展』

内容	開催日	タイトル	講演者等	参加者数
講演会	10月7日	「国芳、猫を描く」	名古屋市博物館学芸員 津田卓子	111人
イベント	10月8日	学芸員のレクチャー付き！夜猫 ^{ニャイト} ミュージアム	当館学芸員 有賀茜	125人
ギャラリートーク	9月27日、10月4日 (計2回)		当館学芸員 有賀茜	46人 41人

④『Kyoto Art for Tomorrow 2023 -京都府新鋭選抜展-』

内容	開催日	タイトル	講演者等	参加者数
イベント	1月21日	「特別展示作家によるアーティスト・トーク」	特別展示作家 山本真澄	58人
ギャラリートーク	1月20日、1月26日、1月27日 (計3回)		出品作家	38人 31人 64人

⑤『コスチュームジュエリー 美の変革者たち

シャネル、ディオール、スキャパレリ 小瀧千佐子コレクションより』

内容	開催日	タイトル	講演者等	参加者数
ワークショップ	2月17日	「ヴェネチアンビーズで楽しむ 手作りネックレス」	コスチュームジュエリー研 究家 小瀧千佐子	25人

講演会	3月2日	コスチュームジュエリーについての講演	コスチュームジュエリー研究家 小瀧千佐子	121人
イベント	3月30日 3月31日	コスチュームジュエリーマーケット		616人 564人
ギャラリートーク	3月5日、3月26日（計2回）		当館学芸員 林智子	30人 34人

（４）京都府立京都学・歴彩館展示

京都府に新たに寄贈された、芸術院会員の漆芸家伊藤裕司と京都府無形文化財保持者の陶芸家竹中浩の作品を紹介した。（総入場者数 1,820人）

開催日	展覧会名
9月16日～11月5日（46日間）	「伊藤裕司・竹中浩展 色の美」
ギャラリートーク（3回）9月28日、10月5日、10月19日 当館学芸員 洲鎌佐智子	

（５）京都文化プロジェクト事業

博物館資料のデジタル展示を強化するとともに、2027年の関西万博に合わせた京都文化の発信を強化するため、令和5年度は以下の事業に取り組んだ。

- ① 企画展示「シュルレアリスムと日本」「異界へのまなざし」の強化充実（印刷物制作、関連イベントの開催、図録購入等）
- ② 未公開・修復資料等の公開等事業（平安宮跡出土考古資料の公開事業、近世町有文書等地域資料を用いた地域史の普及事業）
- ③ 文化財のデジタル撮影機材の整備と資料のデジタル化

（６）地域連携文化事業

地域との様々な連携により、文化活動の発信の強化や新たな機能の創造と魅力向上を図る取り組みを行った。

① 京都文化博物館開館35周年感謝企画

令和5年度当館は開館35周年の節目の年を迎え、感謝企画として期間中（10月1日～12月27日）に博物館関係の団体等の協力もいただき、総合展示の無料開催やイベント、また新たなミュージアムグッズ制作など多彩な企画を実施した。

内容	開催日	タイトル	参加者数
総合展示室 無料観覧	10月1日 11月18、19日 12月24日	総合展示の無料観覧 10月1日（389人）、11月18、19日（1240人）、12月24日（954人）	2,583人
トークショー	12月9日	京都府警あやかし課の事件簿作者・天花寺さやか先生トークショー	58人
講演会	12月10日	「異界へのまなざし展」開催記念講演会 「魔界京都の『発見』とその後-怪異・妖怪研究への貢献-」講師：小松和彦	166人
講座	12月23日	京都ミュージアムズ・フォー講座「あやかしと魔よけの世界」	82人

〃	12月19日	ぶんぱく京都講座「この方、何者！藤貞幹の学問と情熱」	26人
映画	11月1日～30日	(特集)日本のハリウッド京都映画特集(再掲)	1,755人
〃	11月25日	活弁ライブ：作品「御誂治郎吉格子」 活動弁士 大森くみこ ピアノ 天宮遙	141人
音楽会	10月4日	BUNPAKU×KYO-GEI 梶原千聖プロデュース 重なりゆく秋のハーモニー ～室内楽を楽しむ～(昼) ～ストラディバリウス night～(夜)	350人
〃	10月5日	BUNPAKU×KYO-GEI 佐藤響プロデュース バッハ無伴奏チェロ組曲全曲演奏会(昼) Cello! Cello!! Cello!!! (夜)	300名
〃	10月12日	3人のピアニストによる ぶんぱくピアノ【YAMAHA CFⅢ】を聴く	150人
〃	12月14日	別館ホール×音楽 à la carte ～声楽アンサンブル+北欧伝統音楽+日本の歌+70年代 フォークソング～	450人
〃	12月20日	FINAL 矢野百華ピアノコンサート～クリスマスの夢～ (昼) BUNPAKU×KYO-GEI レクチャーコンサート ～弦楽アンサンブルの様々な形～(夜)	300人
ライブ	12月7日	京都文化博物館 35周年・京まちなか映画祭 10周年記念 「ヒゲの未亡人(岸野雄一×Ali)」	51人
その他	10月7.8.9日	京都アート・クラフトマーケット(詳細は(7)外部連携参照)	30,367人
〃	10月11日	EK(EnjoyKyoto)×京都文化博物館 まちあるき&トークイベント	20人
〃	12月3日	ハンドベルミニコンサート&イルミネーション点灯式 (ろうじ店舗博和会との連携)	100人
スタンプ ラリー	期間中	館内ショップ(ろうじ店舗)の協力により、館内を巡るス タンプラリーを開催。ミュージアムグッズやショップグ ッズが総数 350 名に当たるプレゼント企画で 1798 名の 応募があった。	—

② 紫式部と『源氏物語』展覧会関係 2 階ロビー展示事業

総合展示「紫式部と『源氏物語』」の開催に合わせて、2 階コネクションホールに紫式部ゆかりの地マップとイメージイラストを掲示し、平安時代の装束を着た貴族の人形を展示するとともにロビーにイメージイラストより抽出した大型バナーを掲示して賑わいを創出した。また「紫式部ゆかりの地マップ」の印刷物を作成、配布し好評を得た。

(7) 学習普及活動

① ぶんぱく子ども教室事業

広く小中学生を対象として開催している学習普及活動。令和 5 年度は実施していない。

② 博物館実習の受け入れ

京都産業大学大学ほか計 10 大学の学生 10 人を対象に、8 月 21～25 日の日程で実習を実施した。

(8) 調査研究活動

歴史、考古、民俗、美術工芸、映像の各分野で調査研究を行い、研究紀要『朱雀』第35集を刊行するとともに、総合展示、特別展示の実施と展覧会の充実に努めた。

〔京都文化博物館研究紀要『朱雀』第35集〕

○論考

- ・小川千甕のフランス滞在-『滞欧日記』を読む- 植田彩芳子
- ・京都の学校博物館の「特別公開」
-京都府内の学校所在資料展2」の記録を兼ねて- 村野正景

○研究ノート

- ・画家・井澤元一と京都
-『作品ノート』からたどる「京都の洋画」の一側面①- 清水智世
- ・近代における鎌倉武士のイメージの確立について
-源頼朝と北条時政・義時・泰時の事例から- 橋本 章

○資料紹介

- ・第1回 京都工芸美術作家協会アーカイブ事業について 洲鎌佐智子
京都工芸美術作家協会
- ・「袍裳 紫綾地八藤紋」ほか 林智子
- ・翻刻「一洗堂年表」(幕末編) -三國幽眠の日記 畑智子
- ・古代学協会所蔵の古写経
-大蔵寺経・川合宮一筆経・東山将軍塚石経- 佐藤稜介
- ・翻刻「臥游集」(二) 有賀茜・松井直人・吉野健一

(9) 外部連携活動

① 京都市内4館連携協力協議会の活動(京都ミュージアムズ・フォー)

今年度は合同部会を1回、事務部会を1回、学芸部会を1回、全体会を1回開催し、以下の連携事業を実施した。

- ・連携講座の実施(12月23日) ・4館の合同年間スケジュールの作成
- ・各館友の会会員相互割引制度の実施 ・4館相互割引及びスタンプラリーの実施。

② 「京都アート・クラフトマーケット」の開催

令和5年度から、他イベントとの差別化をはかるため、秋の1回開催とし、SNS広告に注力した結果、昨年度の2回開催合計入場者数(30,452人)に匹敵する動員となった。Instagramのフォロワーは1,391人(令和6年4月現在)と、昨年度から約800名増。

開催日	出展数(昨年)	入場者数(昨年)
10/7(土)~9(月祝)	79ブース (59ブース)	30,367人 (2022秋12,248人/2023春18,204人)

③ 「京都文化次世代データセンター(仮称)」の構築のためのプロジェクト(「文化庁 Innovate MUSEUM 事業(博物館機能強化推進事業)」)

本事業は、京都文化博物館が中核館を担う京都歴史文化施設クラスター実行委員会の事業として文化庁補助金を得て実施した(補助金実績額は31,607千円)。本事業の構成団体である京都府、京の三条まちづくり協議会、姉小路界限を考える会、京都市歴史資料館、京都市考古資料館、京都市生涯

学習総合センター、京都市学校歴史博物館、千總文化研究所、古文化保存協会と協働し、デジタル化できる設備とノウハウ、制度を整え、寺社や学校、企業、個人等から各種資料を持ち寄ってデータをストックし、その流通・活用可能性を高める役割を果たすことを目的とした事業である。

同時に、最新技術をもった企業や研究所と連携して先端技術の実験と普及もおこなう。今年度は以下の事業に取り組んだ。

ア 人材育成事業

i 研修会等 ii 展示活用のためのワークショップ iii 成果報告会 iv アンケート等

主に京都市考古資料館と連携して実施した。実行委員会組織員が自らデジタル撮影・適正化処理等をおこない、実践経験を得た。本作業には、地域住民や大学院生等の博物館学芸員以外の人々も加わり、実行委員会内外に経験共有ができた。さらに最先端のデジタル技術（3Dの静止画・動画データ取得・立体視等、高品質撮影、深度合成、赤外線撮影、IIIF等）も体験型で学び、技術やデータマネジメントの素養を得た。

イ データストック事業

i 先進事例調査 ii 地域資料デジタルデータストック iii 写真資料ストック
iv 学校資料ストック v 企業資料ストック vi まちなみ資料ストック

約3万点の2D・3Dの資料画像データを得ることができたほか、データ取得手法や機器類の運用のためのフローをマニュアル化することができた。また、これを視察するため近隣の博物館等が多数来館するという波及効果を生んだ。

ウ データオープン化事業

i 先進事例の調査 ii 地域データのオープン化（三条デジタルマップ作り）
iii まちなみ（建築）コンテンツ作り iv まちなみ映像コンテンツ作り
v ワorkshop vi デジタルデータ活用に関するシンポジウムの開催

予定したコンテンツを全て制作・公開できたほか、本デジタル事業は博物館法へ新たに明記された地域課題解決等への貢献を目的に設定したように、デジタルコンテンツ制作等のプロセスそのものを地域社会と共有することができた。

④ 主催音楽会開催状況（別館ホール）

開催日	タイトル	参加者数
7/15(土)～16(日) (2日間、2公演)	オペラ「卒塔婆小町」 三島由紀夫原作（仏訳：マルグリット・ユルスナール）、 フランソワ・ファイト作曲、小林真理企画・演出によるオペラ公演	計 240 人
10/4(水) 5(木) 12(木) 12/14(木) 20(水)	京都文化博物館開館 35 周年記念ミュージアムコンサート (5日間全 8 公演)（再掲）	計 1,550 人

(10) 友の会事業

会員数は、令和5年度末現在、605人（A会員291人、グループ会員95人、B会員219人）である。

（令和4年度末、634人（A会員309人、グループ会員100人、B会員225人））

会員への博物館情報発信と来館促進のため、「友の会通信」を毎月1回発行した。

博物館主催事業に会員向け優先参加枠を設定し、実施した。

- ・ 特別展「少女たち」関連イベント「トーク会 “石を磨く一星野桂三さんのお話を聞く”」
に参加枠を設定 7月16日（日）（参加者：7名）
- ・ 文化財研修講座「野村碧雲荘」見学会 3月7日（木）、8日（金）（参加者：12名）

（11）博物館ボランティア事業

より開かれた博物館を目指し、博物館と来館者をつなぐ役割を自主的に担うことを目的としている。令和5年度は80名（日本語50名、英語24名、その他言語6名）が在籍し、2階総合展示室「京の歴史エリア」にて、来館者への案内、解説、誘導、監視等の活動を行った。

活動にあたっては、研修等を充実させることにより、スタッフの資質とやりがいの向上に努めた。

○令和5年度の活動実績

- ・ 総合展示担当学芸員による、ボランティア研修 16回
- ・ 第12期ボランティアの委嘱式（令和5年6月4日）

Ⅲ 京都府立文化芸術会館・京都府立府民ホール

1 管理運営業務

「文化芸術会館」及び「府民ホール」については、指定管理者「創」として締結した京都府との協定に基づき管理運営を行った。（文芸会館指定管理期間：令和5年4月から令和10年3月までの5年間、府民ホール指定管理期間：令和2年4月から令和7年3月までの5年間）

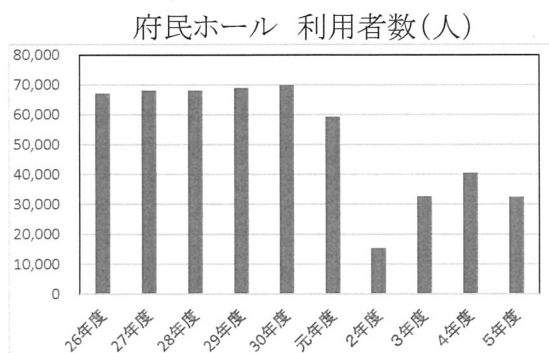
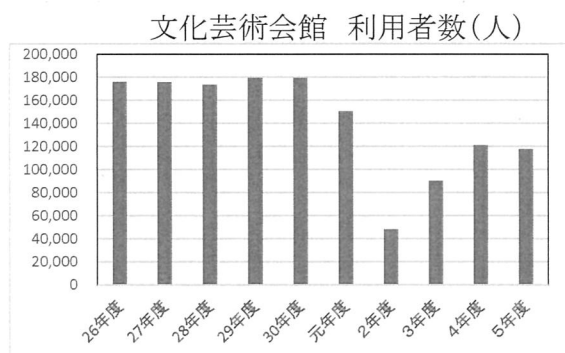
令和5年度は、新型コロナウイルスの感染対策に伴う活動の制限がなくなり、引き続き両館の人的資源の有効活用や、株式会社コングレの持つ民間事業者の弾力的・機動的な運営能力を活かし、財団の目的に沿った京都文化の豊かな創造、発展に寄与した。

施設利用状況は、文化芸術会館の利用率はおおむねコロナ禍以前の水準に回復したものの、来場者数はコロナ禍以前の70%程度にとどまっており、高齢者層を中心に利用が戻っていない。府民ホールは令和6年1月から3月まで耐震工事等により休館したため（休館期間は令和6年8月末までの予定）、前年度と比べて利用者数、公演回数とも減少した。

施設利用状況総括表

施設名	利用者数（人）	利用率	公演回数
文化芸術会館	117,300 (前年度 120,690) *9,930,810	ホール 71.1% (75.0%) 展示室 80.5% (81.6%)	151 (163)
府民ホール	32,279 (前年度 40,384) *2,163,321	ホール 77.9% (81.8%)	129 (180)
計	149,320 (前年度 161,074) *12,094,131		

（ ）は前年度 * は開館からの累計



(1) 施設利用状況

① 京都府立文化芸術会館

施設別の利用状況については、

- ・令和5年度のホール利用状況は次のとおりであり、稼働率71.1%（4年度は75.0%）であった。
 - ・展示室は、1階 260日、2階 234日、3階 17日の利用日数であった。
 - ・年間会館入場者数は117,300人であった。前年度と比較してホールと展示室はほぼ前年並みだったが、会議室の利用が減少（4,764人減）した。
- 利用状況の詳細は、以下のとおりである。

（令和5年4月～令和6年3月）

（単位：日・回・件・人）

区 分	ホ ール	展 示 室				会 議 室	合 計
		1 階	2 階	3 階	計		
利用日数 (和室公演) (会議室に分類)	203	260	234	17	511	—	—
公演回数/件数	151	44	39	5	88	652	891
入場者数	46,828	23,883	18,452	1,025	43,360	27,112	117,300

— 参 考 —

（令和4年度入場者数）

（単位：人）

区 分	ホ ール	展 示 室				会 議 室	合 計
		1 階	2 階	3 階	計		
利用日数 (和室公演) (会議室に分類)	210	250	234	28	512	—	—
公演回数/件数	163	42	42	6	90	873	1,126
入場者数	46,985	22,519	18,127	1,183	41,829	31,876	120,690

② 京都府立府民ホール

令和5年度のホール利用状況は次のとおりであり、稼働率は77.9%

（4年度は81.8%）であった。

年間入場者数は32,279人であった。1月以降ホールの利用を休止しているが、前年度12月までの利用実績と比較するとほぼ横ばいとなっている。利用状況の詳細は、以下のとおりである。

（令和5年4月～令和6年3月）

利用日数	173
公演回数/件数	129
入場者数	32,279

— 参 考 —

（令和4年度入場者数）

利用日数	229
公演回数/件数	180
入場者数	40,384

※令和4年4～12月の入場者数 31,871人

(2) 利用料金収入状況

① 京都府立文化芸術会館

施 設 別	令和5年度	(参考) 令和4年度
ホール使用料	9,879,980 円	9,919,100 円
展示室使用料	7,118,200 円	7,058,600 円
会議室使用料	3,939,200 円	4,598,900 円
録音室使用料	331,700 円	310,000 円
付属設備使用料	11,013,510 円	9,699,250 円
駐車場使用料	14,469,300 円	14,206,050 円
計	46,751,890 円	45,791,900 円

② 京都府立府民ホール

施 設 別	令和5年度	(参考) 令和4年度
ホール使用料	12,469,950 円	18,026,850 円
付属設備使用料	6,349,780 円	7,845,220 円
計	18,819,730 円	25,872,070 円

3 美術工芸振興基金事業

(1) 京都府出えん金

昭和63年度	79, 000, 000 円
--------	----------------

(2) 基金運用事業

基金の果実を財源として、美術・工芸界でユニークな創造活動を行う作家を対象とした『企画展』を開催してきたが、利息の減収等により事業資金が不十分な現状となっている。そういった中で、令和5年度においては、令和6年度以降に向け果実を積み上げた。

2 事業実施状況

文化芸術会館

<公益目的事業>

(1) 自主(主催)事業

良質な舞台芸術の提供、新たな文化の創造、次世代のアーティストの発掘育成、府民との協働、「古典の日」の推進をコンセプトに、京都府からの委託事業に取り組むとともに、伝統芸能などの自主事業を企画・開催した。

① 京都府からの委託事業

<京都ゆかりの次世代アーティスト育成プログラム>

催 し 物 名				開催日	会場	
古典芸能	狂言五笑会 4回	第47回	小舞：「京童」「幼けしたるもの」「福部の神」 狂言：「惣八」「寝音曲」「鬼の継子」 出演： 島田洋海、増田浩紀、井口竜也、 鈴木実、山下守之	令和5年 5月26日	和室	70
		第48回	小舞：「吉の葉」「鮒」「鵜飼」 狂言：「お茶の水」「右近左近」「墨塗」 出演： 島田洋海、増田浩紀、井口竜也、 鈴木実、山下守之	8月4日		70
		第49回	小舞：「福の神」「雪山」「景清」 狂言：「雁礫」「悪坊」「鞍」 出演： 島田洋海、増田浩紀、井口竜也、 鈴木実、山下守之	12月14日		70
		特別公演	狂言：「蝸牛」「三人片輪」「釣狐」 出演：五笑会メンバーほか網谷正美、丸石やすし、 茂山七五三、茂山あきら、茂山 茂、 茂山千五郎、茂山宗彦	令和6年 3月23日	大 江 能楽堂	230
	狂言特別公演		三笑会結成 40 周年記念 網谷正美喜寿記念 狂言：「福の神」「素袍落」 ご挨拶とトーク 狂言：「はだかの殿様」 出演：五笑会メンバーほか網谷正美、丸石やすし、 松本 薫、茂山千五郎、茂山千之丞、 茂山逸平、茂山宗彦、茂山 茂	9月9日	ホール	430
	上方落語勉強会 4回	第270回	「延陽伯」桂 雪鹿／「うなぎ屋」林家愛染 くまざわあかね新作 Vol. 49 お題の名づけ親は あなたです その 131 露の 都／ 「天狗裁き」桂 米二／「住吉駕籠」笑福亭風喬	6月23日	和室	70
		第271回	「明石飛脚」桂 二豆／「しの字丁稚」桂 福丸 ／小佐田定雄新作 Vol. 105 お題の名づけ親はあ なたです その 132 笑福亭笑助／ 「田楽喰い」桂 米二／「身替り団七」桂 吉坊	9月21日		70
第272回		「商売根問」桂八十助／「狼講釈」林家染吉 くまざわあかね新作 Vol. 50 お題の名づけ親は あなたです その 133 桂弥太郎／ 「鯉舟」桂 米二／「紺田屋」森乃石松	12月8日	70		

		第 273 回	「子ほめ」桂米舞／「ちりとてちん」月亭秀都 ／小佐田定雄新作 Vol. 106 お題の名づけ親はあ なたです その134 桂 小鯛／ 「貧乏花見」桂 米二／「藪入り」桂 三幸	令和6年 3月21日		70
--	--	---------------	--	---------------	--	----

＜「古典の日」推進プログラム＞

催 し 物 名			開催日	会場	入場者数
古典 芸能	「新春 米朝一門花形落語会 桂弥壺、桂そうば、桂ひろば、桂吉弥、桂南天、桂米紫		令和6年 1月5日	ホール	300

＜府民との協働・参画プログラム＞

催 し 物 名		開催日	会場	入場者数
演 劇	Kyoto演劇フェスティバル(特別企画) 創造音楽劇 「あしたの森のチコ」2023年版 (地域連携文化事業準備資金事業)	8月18日 19日	ホール	450
	第45回Kyoto演劇フェスティバル <u>和室プログラム</u> ・ごちゃまぜMINIシアターズ「ごちゃまぜMINIシアター」 ・役者でない「アフリカへ行ってくる」 ・人形劇ユニットぷくぷく「びんぼう神と福の神」 ・京都放送劇団 「霜夜狸」「夜の客」 ・春楡一座「片づけたい女たち」 ・朗読サークルモンブラン「あらしのよるに」 <u>ホールプログラム</u> ・城陽市立寺田小学校PTA演劇サークル+児童劇団パワフル☆ウイン ☆キッズ&ジュニア「やまのわくらば」1部風の音 2部サンパチ ・五蓮座「雀の発心」 ・TMパフォーマンズ・プロ 「Time slip 日本昔話」 ・みかんの本文庫&淑徳人形劇 「ぼくはキリンぼくはペン ギン」「おたまじゃくし海へいく」 ・児童劇団やまびこ座「盗人森は生きている または狼森の おとふかく」 ・浪花サムライ大使SANADA 「大坂燃ゆ」 ・ひとり人形劇まる「ナバタのほうき」 よっちゃんの紙芝居 「ポキールの時計」 ・ちゃんばらCLUB喜怒哀楽 「陰陽師2024」 ・宇治っ子朗読劇団☆Genji 源氏物語 「紫さんを待ちながら」	令和6年 2月10日 ～12日	和 室 ホール	2,779

② 自主事業

＜優れた舞台芸術の鑑賞機会の提供＞

催 し 物 名		開催日	会場	入場者数
演劇	北部演劇活性化プログラム 第26回 きょうと北部演劇まつり 狂言「柿山伏」網谷正美・井口竜也、創造音楽劇「あしたの森のチコ」、和太鼓夢幻&酒井しんご、みかんの本文庫「きりんくんとかばくん なかよし」 ※京都府中丹文化事業団・きょうと北部演劇まつり実行委員会	9月3日	綾部市	350
	イッセー尾形のひとり芝居「妄ソ〜劇場」その7 2023 in京都 ①自衛隊 ②女性上司 ③薬局（サル）④税金ばあさん ⑤田舎サラリーマン ⑥雪子の冒険 サーカス」編 ⑦演歌歌手	10月27日 ～29日	ホール	1,310 (3回)
古典 芸能	文楽京都公演 「義経千本桜」 椎の木の段 すしやの段 「桂川連理柵」 六角堂の段 帯屋の段 道行朧の桂川	令和6年 3月1日 2日	ホール	1,370 (4回)
	京都三曲協会 邦楽（箏・三絃・尺八）を楽しむ会	6・9・12・3月	和 室	280 (4回)

演劇

文化芸術会館 受託・自主事業合計数

	公演数	入場者数
受託・自主事業 合計	39	7,989
前年同期計	28	8,747
増減差	11	▲758

(2) 会館の運営事業

会館の備えるホール、和室、展示室及び会議室の各施設・設備を、自主（主催）事業と同様に、若手アーティスト等の育成、府民等との協働、質の高い文化芸術に触れる機会の提供及び次世代育成に資する事業、府民参加型による文化芸術の振興に資する事業、京都発の新しい舞台芸術の創造に資する事業等の実施と交流のために使用する利用者に貸与した。

(3) 友の会事業

友の会会員に対し、昨年と同様に、自主事業の定期的な公演情報の提供、公演チケットの先行発売、割引販売等の特典サービスを提供した。新型コロナウイルス感染症対策の解除により、会員数は昨年より少し増加した。

会員数	令和5年度末	286人
	(令和4年度末	273人)

＜収益事業＞

(1) 公益目的外貸与事業

① ホール、和室及び展示室の使用のうち、府民等との協働、質の高い文化芸術に触れる機会の提供等の公益目的以外の興行性の高い利用者の使用に貸与した。

② 会議室使用のうち、民間事業者等の学術的利用のための使用に貸与した。

参考 公益目的外貸与事業による入場者数等

	貸与日数	公演等数	入場者数
ホール	1 5	1 4	5, 7 6 5
会議室	6 3	6 7	2, 1 8 0

(2) 駐車場事業

来館者等の利便のため附属駐車場を運営した。

2 事業実施状況

府民ホール

<公益目的事業>

(1) 自主（主催）事業

京都府からの委託事業及び自主事業を、高い芸術性と趣向を凝らしたおもてなしを提供する「ALTI 未来時間」のコンセプトのもと、新しい舞台芸術の発信・創造、若手アーティスト等の育成、質の高い文化芸術に触れる機会の提供及び次世代育成に資する音楽、舞踊等の公演として企画・実施した。

令和6年1月から耐震工事等のため休館したが、3月には棟続きの京都府公館レセプションホールにおいて「サロンコンサート」を開催し、新たな趣向で音楽鑑賞の機会を提供した。

①京都府受託事業

<京都ゆかりのアーティスト育成プログラム>

(次世代の育成)

	催 し 物 名	開催日	会場	入場者数
音 楽	ALTI子どものための小さな音楽祭	令和5年 8月5日	ホール	396
	京都アルティ弦楽四重奏団	令和5年 9月23日	ホール	237

<新しい舞台芸術の創造・発信プログラム>

	催 し 物 名	開催日	会場	入場者数
舞 踊	アルティ・アーティスト・プロジェクト A. A. P. 舞踊公演 望月則彦 追悼公演「カルミナ・ブラーナ」	令和5年 7月7日 7月8日	ホール	502

<京都から国際的な舞台芸術の発信プログラム>

	催 し 物 名	開催日	会場	入場者数
音 楽	クリスマスJAZZコンサート	令和5年 12月23日	ホール	376

②自 主 事 業

<次世代の育成プログラム>

	催 し 物 名	開催日	会場	入場者数
音 楽	佐藤和哉 篠笛コンサート「花奏風月」 ～篠笛で届ける心の音色～	令和5年 4月8日	ホール	216
	ALTI子育て応援コンサート第1回 「音につつまれる」 (地域連携文化事業準備資金事業)	令和5年 10月19日	ホール	26

＜新しい舞台芸術の創造・発信プログラム＞

	催 し 物 名	開催日	会場	入場者数
音 楽	チェロアンサンブルの愉しみ ～トップチェリストによる珠玉のアンサンブル～	令和 6 年 3月29日 3月30日	レセプ ション ホール	259

＜京都から国際的な舞台芸術の発信プログラム＞

	催 し 物 名	開催日	会場	入場者数
音 楽	アルティ声楽アンサンブルフェスティバル 2023	令和 5 年 7月15日 7月16日	ホール	560

	入場者数
受託・自主事業 合計	2, 572
前 年	4, 486
増 減	▲ 1, 914

(2) ホールの運営事業

ホールの施設・設備を、自主（主催）事業と同様に、若手アーティスト等の育成、府民等との協働、質の高い文化芸術に触れる機会の提供及び次世代育成に資する事業、府民参加型による文化芸術の振興に資する事業、京都発の新しい舞台芸術の創造に資する事業等のために使用する利用者に貸与した。

(3) 友の会事業

友の会（アルティ・メイト）会員に対し、定期的な公演情報の提供、公演チケットの先行発売、割引販売等の特典サービスを提供しホール利用を促進した。令和 6 年 1 月からの休館のため会員数が減少したが、会員の有効期限を休館期間分延長するなど特典の充実と窓口での入会案内の強化により会員の拡大に努めた。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
会員数	519	401	419	448	368

＜収益事業＞

(1) 京都府公館の管理事業

府民ホールとの合築になっている京都府公館を、府との委託契約に基づき管理した。

(2) 公益目的外貸与事業

ホールの使用のうち未利用日等について、優れた文化芸術活動の場の提供等の公益目的事業以外の興行性の高い利用者や京都府主催行事の使用に貸与した。

参考 公益目的外貸与事業による入場者数等

貸与日数	公演数	入場者数
8	9	2, 370

Ⅳ 京都府立堂本印象美術館

1 管理運営業務

総入館者数は野外展、庭園利用を含めて 27,570 人となった。展覧会の入館者数は前年度に及ばなかったが、野外展など庭園の利活用に継続して取り組み、集客に努めている。

展覧会事業では特別企画展として、当館にゆかりのある日本画家の堂本元次を顕彰し、また現役作家の作品発表の機会創出のため「現代作家展」を企画し、第 1 回として「渡辺信喜 四季の譜」を開催したほか、京都工芸美術作家、京都彫刻家協会、京都いけばな協会など、地域の芸術家団体と連携して展覧会を実施した。

また堂本印象美術館の老朽化に伴い、美術館を安全に運営するため、建物外壁の防水改修工事を実施したほか、電気設備の更新、館内 LED 化工事に着手している。

令和 5 年度入館者数 (人)

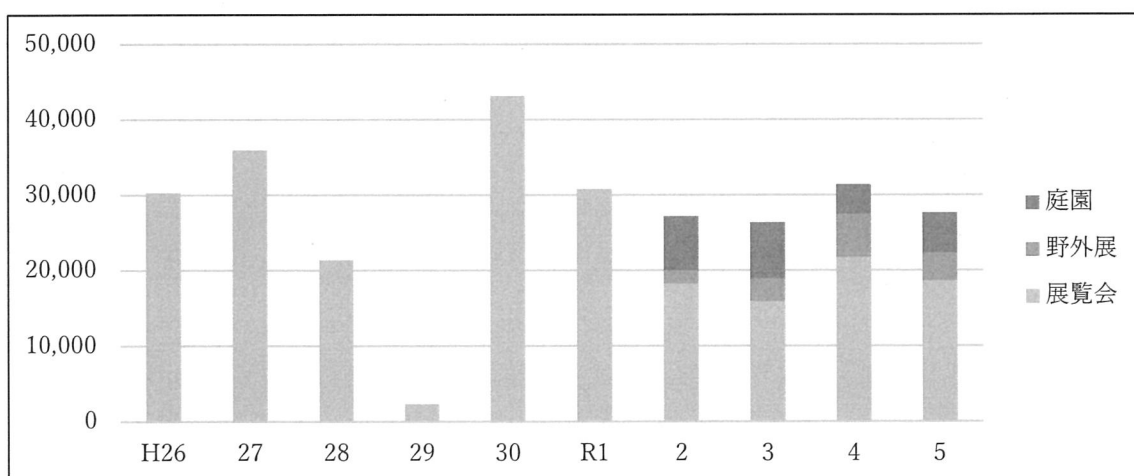
	展覧会入場者	野外展入場者	庭園利用者	総 計
入館者数	18,618	3,674	5,278	27,570

過去 10 年間の入館者数実績 (人)

	展覧会入場者	野外展入場者	庭園利用者	総 計
平成 26 年度	30,249	-	-	30,249
平成 27 年度	35,927	-	-	35,927
平成 28 年度	21,341	-	-	21,341
平成 29 年度	2,228	-	-	2,228
平成 30 年度	43,082	-	-	43,082
令和元年度	30,697	-	-	30,697
令和 2 年度	18,216	1,753	7,126	27,095
令和 3 年度	15,857	3,090	7,347	26,294
令和 4 年度	21,691	5,765	3,854	31,310

※平成 29 年 1 月～平成 30 年 3 月：リニューアル工事のため休館

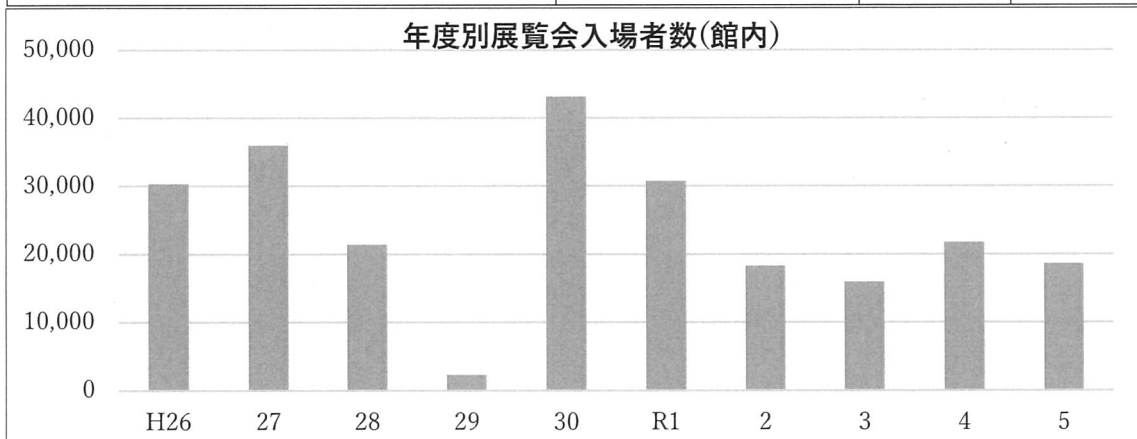
※令和 2 年度より野外展入場者、庭園利用者を計測



2 事業実施状況

(1) 展覧会事業

展覧会名	主催者・出展者	開催期間	入場者数	一日平均
生誕 100 年記念 堂本元次	京都府 堂本印象美術館 京都新聞	4 月 15 日～5 月 31 日 41 日間	4,375 人	107 人
第 6 回野外彫刻展	京都府 京都彫刻家協会 堂本印象美術館	4 月 15 日～5 月 31 日 41 日間	(2,215 人)	(54 人)
大好き 印象の動物・ 鳥・昆虫	京都府 堂本印象美術館 京都新聞	6 月 17 日～11 月 23 日 137 日間	8,048 人	59 人
若き日のロマン、 大正時代の印象さん	京都府 堂本印象美術館 京都新聞	12 月 9 日～2 月 25 日 61 日間	5,117 人	84 人
第 4 回京都工芸美術 作家展	京都府 堂本印象美術館 京都工芸美術作家協会			
第 5 回野外いけばな展	京都府 京都新世代いけばな展 運営・実行委員会 堂本印象美術館	2 月 9 日～2 月 12 日 4 日間	(1,074 人)	(269 人)
渡辺信喜 四季の譜 京都府立堂本印象 美術館 現代作家展	京都府 堂本印象美術館 京都新聞	3 月 20 日～5 月 17 日 52 日間 (令和 5 年度 11 日間)	1,078 人	98 人
第 7 回野外彫刻展	京都府 京都彫刻家協会 堂本印象美術館	3 月 20 日～5 月 17 日 52 日間 (令和 5 年度 11 日間)	(385 人)	(35 人)
のべ開催日数 306 日		合計 ※()は野外展を含む人数	18,618 人 (22,292 人)	61 人 (73 人)



年度	H26	27	28	29	30	R1
入場者数	30,249	35,927	21,341	2,228	43,082	30,697
年度	R2	3	4	5	累計(H4～R5)	
入場者数	18,216	15,857	21,691	18,618	676,552	

※平成 29 年 1 月から平成 30 年 3 月までリニューアル工事のため休館

(2) 学習普及事業

事業名	実施日 実施期間	概要	延べ 参加者数
立命館大学連携授業 現代社会とボランティア	4月1日～ 8月2日 (10回)	美術館の広報記事、備品整備などのボランティアを企画し、学生を受け入れ。	82人
立命館大学連携授業 シチズンシップ・ スタディーズ	9月26日～ 1月31日 (10回)	職員と学生が共同で美術館の広報計画の企画から実施までを実施し、京都、大阪、滋賀の3キャンパス合同の活動報告会で発表。	36人
京都市立蜂ヶ丘中学校 協力授業 職場チャレンジ体験	9月5日～ 9月8日 (4回)	美術館業務の体験学習に協力し、受付、監視、広報、SNS発信、来館者対応などの学びの機会を提供。	16人
立命館中学校 協力授業 職場チャレンジ体験	11月8日～ 11月10日 (3回)	美術館業務の体験学習に協力し、受付、監視、広報、SNS発信、来館者対応などの学びの機会を提供。	12人
夏休みイベント 「堂本印象美術館で動物さがし」	7月22日,29日 8月5日,12日 8月19日,26日	「大好き 印象の動物」展にあわせて幼年者向けにクイズを取り入れたワークシートを配布。	46人
京都新聞ニュースカフェ 夏休み親子向けイベント 「園長さんと見る！ 絵の中の動物たち」	8月18日	「大好き 印象の動物」展にあわせて、京都市動物園の坂本英房園長を講師に迎え、当館学芸員との共同による講演会を実施。	13人
京都新聞ニュースカフェ 特別講演会 「日本画の中の生きものたち 印象さんと鳥虫ウォッチング」	10月21日	「大好き 印象の動物」展にあわせて、東山魁夷せとうち美術館の北地直子学芸員を講師に迎え、当館学芸員との共同による講演会を実施。	19人
京都新聞ニュースカフェ 特別講演会 「“心中の都、美しい心中の都” 『いの字絵本恋の都大阪の巻』 と堂本印象の青春」	1月19日	「若き日のロマン」展にあわせて、橋爪節也大阪大学名誉教授を講師に迎え、講演会を実施。	34人
ギャラリートーク (スペシャル ギャラリートーク含む)	4月29日,5月21日 8月5日,9月24日 10月21日, 1月20日,2月10日 1月27日,3月30日	当館学芸員や出品作家、展覧会協力者による作品解説を実施。	294人
合計			552人

(3) 地域連携・文化観光推進事業

事業名	実施日・実施期間	概要	延べ 参加者数
関西広域連合 連携企画 関西文化の日	11月18日, 19日	関西の美術館、博物館と協力して入館料を無料とし、人々へ芸術体験の機会を提供。	477人
文化庁京都移転記念事業 京都モダン建築祭	11月2日～11月12日	歴史的な建築物を一斉公開する企画に初めて参加し、建築の面から芸術体験の機会を提供。	260人
京都市内博物館施設 連絡協議会連携企画 第27回京都 ミュージアムロード	1月24日～2月25日	京都市および京都市内の美術館、博物館と連携してスタンプラリー、グッズの頒布を行い、各施設館の広報、来館促進に協力。	3,239人
京都歴史回廊協議会 連携企画 妙心寺探訪 中心伽藍と しての法堂と仏殿	2月17日	地元団体と協同で妙心寺の探訪と文化財保護の有識者による解説会を開催。	36人
合計			4,012人

- ・きぬかけの路推進協議会、京都歴史回廊協議会との連携

衣笠地域の著名な寺院のひとつである妙心寺の建物探訪などを共同で開催し、地域の文化観光の振興に協力した。

- ・今出川通・日本画茶の湯美術館連絡会との連携

『京都・今出川通の美術館だより』（季刊誌）を年4回共同発行した。

構成館 堂本印象美術館、橋本関雪記念館、北村美術館、樂美術館、茶道資料館

(4) 友の会事業

平成25年3月に募集を開始し、現在の会員数は個人27、団体1。会員から会費にて美術館の活動を支援頂きながら、展覧会の無料入館などのサービスを提供した。

(5) 美術館ボランティア事業

平成25年4月に結成した堂本印象美術館ボランティアのメンバーをリニューアルオープンに合わせて新たに募集し、来館者への説明や各自主事業などへのスタッフとしての参加等、美術館運営に得難い力となっている。現在、34名在籍。

(6) 調査・研究事業

堂本印象の作品及び関連資料の調査、研究に基づき企画展として展覧会を企画・実施。さらに京都ゆかりの日本画家を顕彰する特別企画展を企画・実施し、また図録等を作成して、その成果を広く公開した。